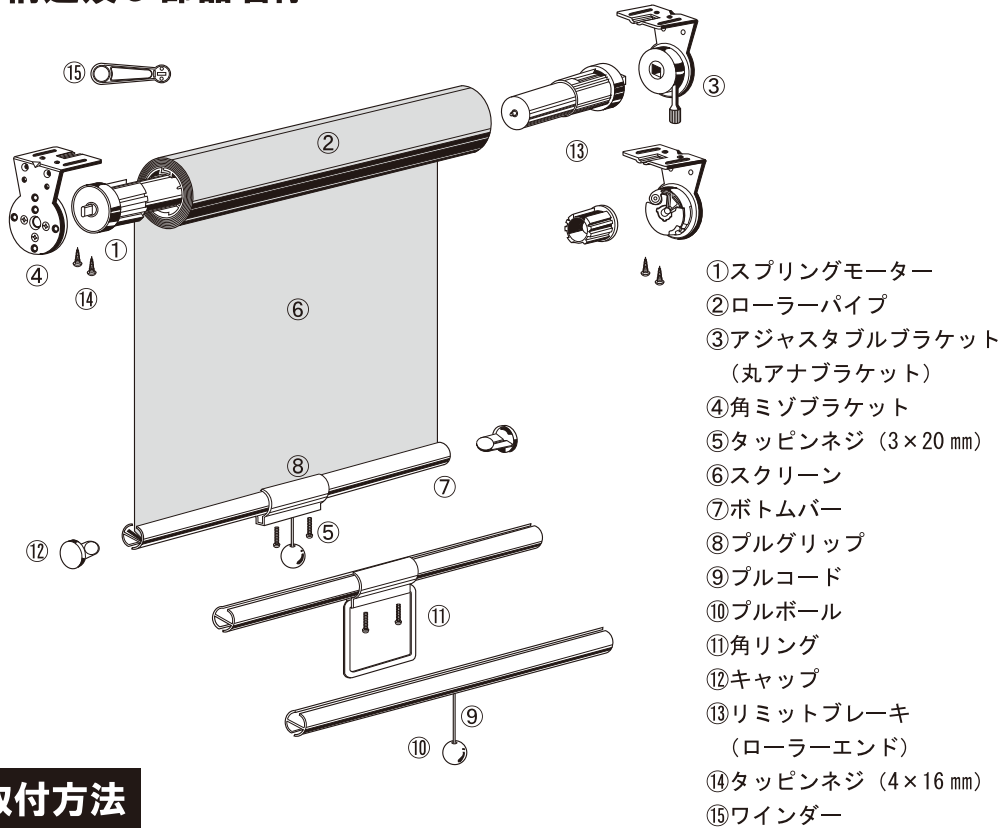


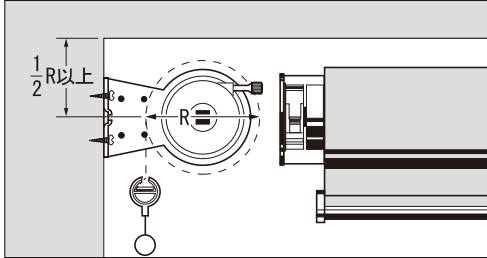
● 構造及び部品名称



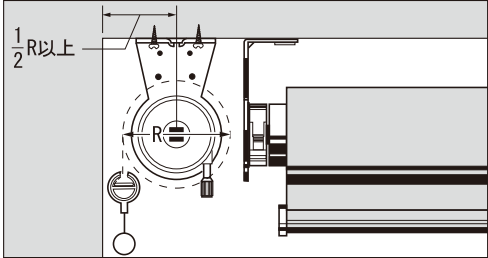
取付方法

1 取付場所

■ 壁付け



■ 天井付け



取付場所は、窓枠の正面、内側等の木部に適しています。

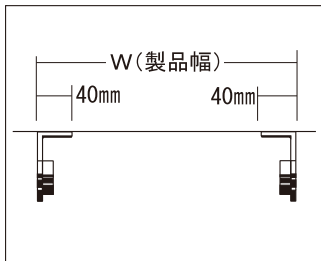
壁面からは図のようにスクリーンの巻径の半分以上離して取り付けます。

サッシ側に寄せて取り付けますとスクリーンがサッシに干渉して巻き上がらなくなります。

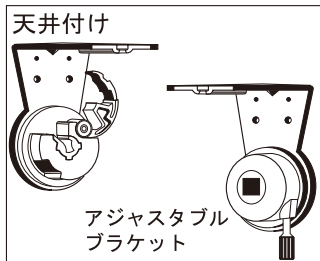
⚠ 注意

- 製品は、スクリーンの厚さと製品丈により適当な位置に取り付けてください。
- 取付場所の水平を確認してください。水平でないとき巻きずれの原因となります。
- 石膏ボードを材料とする面には取り付けできません。落下の原因になります。やむをえず取り付ける場合には、専用のアンカーを別途購入のうえ取り付けてください。

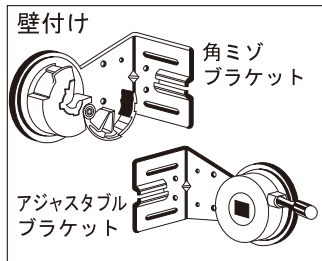
2 ブラケットの取り付け位置



ブラケットを上図のように製品幅と同じ位置に取り付けます。



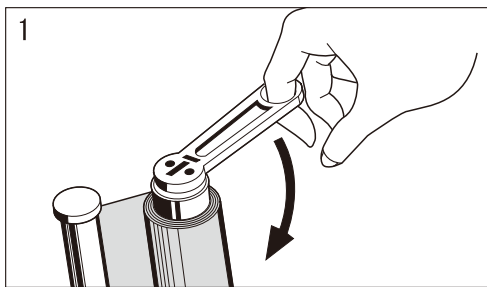
必ず向かって左側に角ミゾブラケット、右側にアジャスタブルブラケット（もしくは丸アナブラケット）をタッピンネジでしっかり固定してください。



⚠ 注意

- ブラケットの取付位置は正確に寸法をはかり取り付けてください。取付位置の寸法幅がひろすぎると脱落、狭すぎると昇降不良の原因となります。

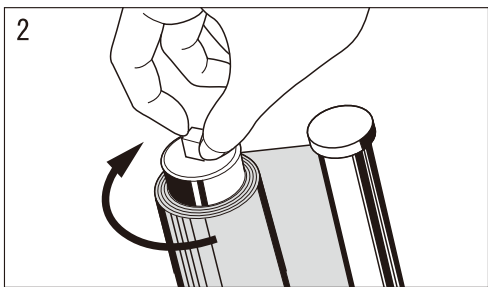
3 製品の取り付け①



スプリングモーターの角ピンをワインダーで、右巻きに指定回数（保証書に記載された初巻き回数）をまわしてください。クラッチが作動したら初巻き作業の終了です。

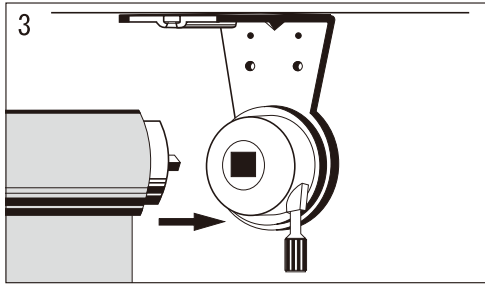
⚠ 注意

- クラッチが作動すると初巻きは元に戻りません。角ピンを逆方向(左)に回転させるとクラッチが破損します。絶対に行わないでください。

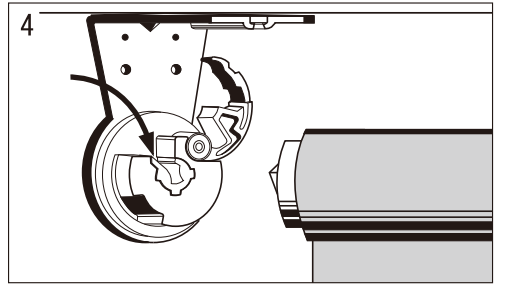


リミットブレーキ装備の製品の場合は、リミットブレーキのピンを右に手でまわりきるまでまわしてください。

3 製品の取り付け②



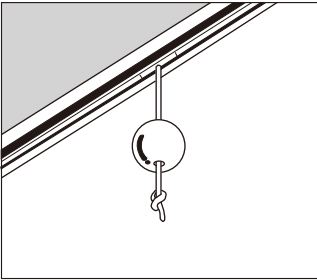
アジャスタブルブラケットにリミットブレーキ側を差し込みます。リミットブレーキが装備されていない製品はローラーエンドを丸アナブラケットの穴に差し込みます。



角ミゾブラケットのカバーを開け、スプリングモーター側を落し込みます。カバーを閉じてください。

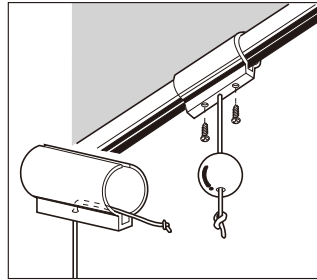
4 ボトムアクセサリーズの取り付け

プルボール



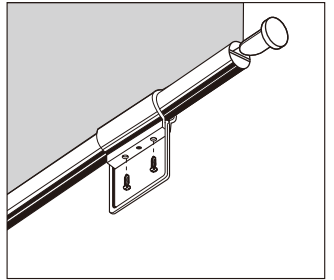
スクリーンを固定している紙を取り除いてください。プルコードをボトムバーの中心にずらしします。プルコードを操作しやすい長さに切ってください。

プルグリップ付き



プルグリップにプルコードを下からとおし、結び目をつくりまします。ボトムバーにプルグリップを横からはめ込み、ボトムバーの中心位置でタッピンネジで固定します。プルコードを操作しやすい長さに切ってください。

角リング



角リングをプルグリップにセットします。ボトムバーからキャップを取り外し、プルグリップを横からはめ込みます。プルグリップをボトムバーの中心でタッピンネジで固定します。

⚠ 警告

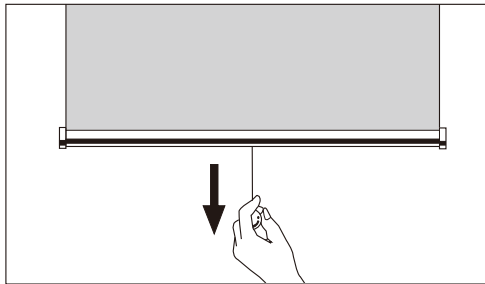
- 万一、プルボールが外れたら、お子様の手の届くところに置いたままにしないでください。誤って飲み込んだ場合、窒息する恐れがあります。

⚠ 注意

- プルコードとプルグリップはボトムバーの中心に固定してください。巻きずれの原因となります。

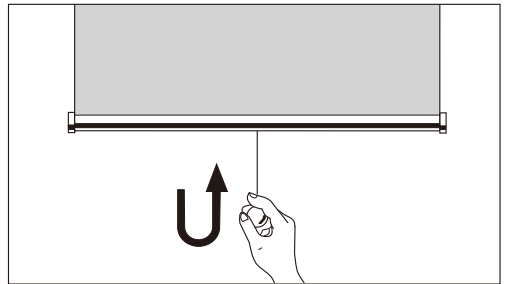
操作方法

■ スクリーンをさげる時



プルボールを手で持って下に動かし、任意の位置でゆっくり手をはなすとクラッチが自動的に作動し止まります。勢いよく操作するとクラッチがかからず止まりません。

■ スクリーンをあげる時



プルボールを手で持って下に引き手をはなすと、スクリーンが上がります。巻きあがる勢いが強過ぎると感じられるようでしたら、巻きあがりの際には手を添えて操作してください。

調整方法・お手入れ方法・アフターサービスは裏面をご覧ください

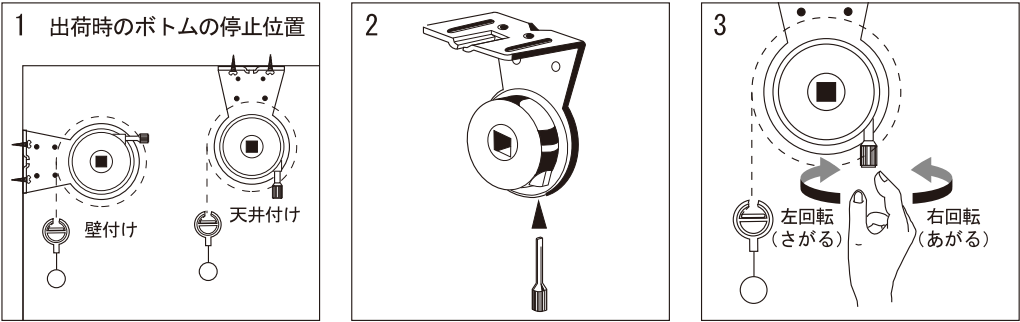
METACO inc. 株式会社 メタコ

本社 106-0032 東京都港区六本木7-3-8 永谷ヒルプラザ六本木203 TEL 03-3403-9571 FAX 03-3403-6498
大阪営業所 540-0011 大阪府大阪市中央区農人橋1-4-31-9F TEL 06-6947-1771 FAX 06-6947-1772

調整方法

停止位置の調整（リミットブレーキ付製品の場合）

- スクリーンを巻きあげたときのボトムバーの停止位置を設定できます。



出荷時のボトムバーの停止位置は図のようになっています。変更したい場合は調整してください。スクリーンを一度下までさげ、巻きあげてください。

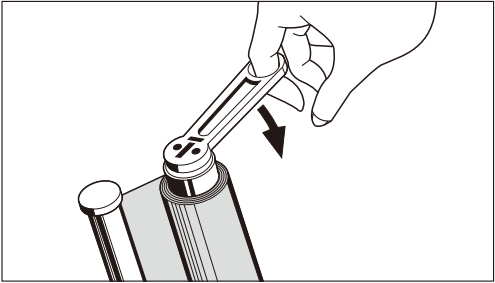
向かって右側のアジャスタブルブラケットのタグについている調整用ドライバーの先端を、アジャスタブルブラケットのマイナスのみぞに合わせ差し込みます。左回転に調整用ドライバーを回すと、ボトムバーはさがります。右回転に調整用ドライバーを回すと、ボトムバーはあがります。任意の位置まで高さを調節してください。調整用ドライバーを取りはずして保管してください。

注意

●調整の際には必ず専用の調整用ドライバーを使用してください。調整用ドライバーを回しても下にさがらない場合はもう一度スクリーンを下までさげて巻きあげてください。調整が終わりましたら、スクリーンを一度下までさげて巻きあげボトムバーの停止位置を確認してください。

初巻の開放

- 製品を取り外す場合
製品本体を取りはずし、再度取り付けを行なう場合、初巻きを正確に再設定するため、初巻きを元に戻します。



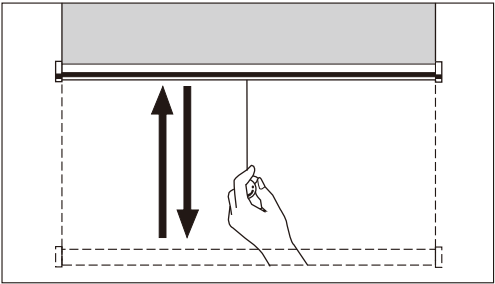
スプリングモーターの角ピンを上に向け、ワインダーを差し込み、右方向にわずかに回転させ、すばやくワインダーを角ピンからはずすと初巻きは元に戻ります。

注意

●ワインダーは操作中手から離さないように注意してください。初巻が元に戻る際、勢いよく回転するので手や物にぶつかるとケガや破損の恐れがあります。

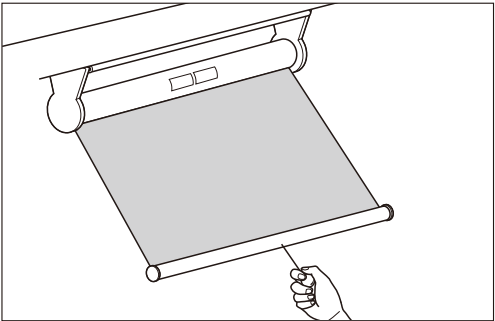
巻き上げ

- スクリーンが巻き上がらない場合
冬期など室内の温度が低い場合や、スクリーンを下げた状態で長期間置いた場合、スクリーンが巻き上がりにくくなることがあります。この場合以下の操作を行ってください。



スクリーンを大きく下げて手をはなします。それでも巻きあがらない場合、巻きあがるまで同じ操作を行ってください。

- スクリーンを引ききってしまった場合
ローラーパイプが見えるまで引き下げてしまった場合、スクリーンが巻き上がりにくくなることがあります。この場合以下の操作を行ってください。

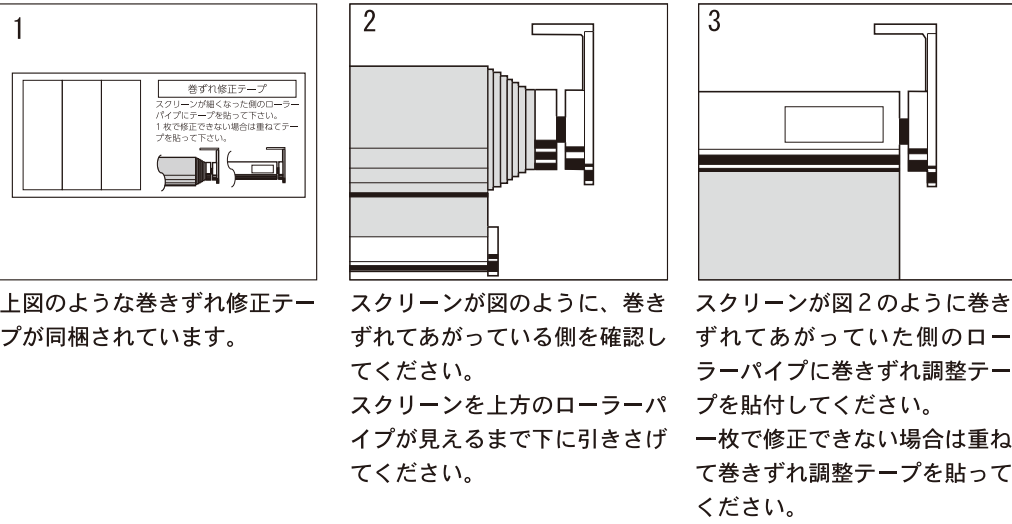


スクリーンを斜め手前方向に引っ張ります。巻き上がり始めたらゆっくり手を放します。ロールスクリーンを操作する際にはスクリーンの引ききりに注意して操作してください。

巻きずれ調整

- スクリーンを巻きあげたときに巻きずれが発生した場合
スクリーンに巻きずれが発生していると、スクリーンが巻きあがらなくなったり、しわができる

- ①ロールスクリーンが水平に取り付けられているか確認してください。
 - ②ブラケットが適正な位置に取り付けられているか確認してください。
 - ③ブルボール・ブルグリップがボトムバーの中心に取り付けられているか確認してください。
- 上記の確認をした上でも巻きずれが直らないようでしたら下記の方法で巻きずれ調整を行ってください。



上図のような巻きずれ修正テープが同梱されています。

スクリーンが図のように、巻きずれてあがっている側を確認してください。スクリーンを上方のローラーパイプが見えるまで下に引きさげてください。

スクリーンが図2のように巻きずれてあがっていた側のローラーパイプに巻きずれ調整テープを貼付してください。一枚で修正できない場合は重ねて巻きずれ調整テープを貼ってください。

安全上のご注意 必ずお守りください

取扱説明書はお客様に安心して製品をお使いいただき、人身への被害と財産への損害を未然に防ぐため、以下のように表示し、説明しています。

警告

この表示を無視して誤った取扱いを行うと、使用者などが死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される危害の程度を示す。

注意

この表示を無視して誤った取扱いを行うと、使用者などが傷害を負うことが想定されるか、物的損害の発生が想定される危害・損害の程度を示す。

■お手入れ方法

- スクリーンについたホコリは、はたきや乾いた布で軽くはらってください。
- スクリーンは洗えません。水、漂白液、液体洗剤等を使用すると変質、変色の原因になります。
- スクリーンに殺虫剤をかけたり、シンナーやベンジンなどの揮発性のあるもので拭いたりしないでください。変質、変色の原因になります。

警告

- ロールスクリーン本体及びボトムバーを強い力で引っ張ったり、ぶらさがったりしますと故障の原因や落下する場合があります。危険ですのでおやめください。
- ロールスクリーンの近くに、温度の高くなるストーブなどを置かないでください。火災の原因になります。

注意

- ロールスクリーンは、出荷時に調整済みですので分解や改造は絶対に行なわないでください。
- ロールスクリーンを下げたときにスクリーンに障害物があたらないようにしてください。障害物がある場合は取り除いてから操作してください。しわの原因になります。
- 風呂場など水分や湿気の多い場所では使用しないでください。シミや汚れの原因になります。
- 雨が直接スクリーンにかかる場所では使用しないでください。
- 風が強い時は、ロールスクリーンを巻き上げるか、窓を開けて使用してください。スクリーンがおおられて置物などにあたり破損の原因になります。

■アフターサービス

1. 製品保証について

- 〈1〉保証期間
保証期間 —— 製造日から 1 年間
製造日については、ローラーパイプに貼付されたデーターシートに印字してあります。
※ただし、スクリーンは対象外です。
- 〈2〉無料修理規定
取扱説明書の注意事項に従った使用状態で保証期間中に故障した場合には、無償修理いたします。
- 〈3〉製品保証の免責事項
①取付け・使用上の誤り、また不当な改造による故障及び損傷。
②お買い上げ後の取付場所の移動、引っ越し、輸送等による故障及び損傷。
③火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、ガス害等による故障及び損傷。

2. 修理を依頼されるとき

- 保証期間中は、規定に従ってお買い上げの販売店にローラーパイプに貼付されたデーターシートの内容をお伝え下さい。
- 保証期間が過ぎているときは、お買い上げの販売店へご依頼ください。有料で修理いたします。

3. 補修用性能部品の最低保有期間

- 補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 5 年です。
- アフターサービスについておわかりにならないときは、お買い上げの販売店にお気軽にお問い合わせください。
- 部品についてのお問い合わせは、部品名称をご参照ください。
- 本品の規格及び外観は改良のために、予告なしに変更することがありますのでご了承ください。
- 防災製品には、ローラーパイプの中央に防災ラベルが貼付されています。確認が必要な場合は、スクリーンをローラーパイプが見えるまで下にさげてください。